地域の伝統”神楽”を残すために・・・

社会

１．研究動機

私が神楽を研究しようとしたきっかけは、神楽をもともと経験していたのもあり、何のために行うものなのか確認するのに加えて、この大切な伝承を残すために自分にできることを探したかったからです。

２．研究概要

１．神楽全体の歴史調べ　２．地域の現状調査
３．道具の由来調べ　４．自分が経験した神楽の確認
５．残した映像の使用　６．まとめ

３．研究内容

１．ネットや本を活用して神楽の名前の由来やできたきっかけ、またそれに携わった歴史的人物を調べ、ノートにまとめた。調べる中で神楽は古来の祭祀文化を現代に伝えるもので、娯楽でもあることが分かった。
２．地域のことや神楽のことをよく知っている私の祖父に私の住んでいる地域について現状を教えてもらった。（師匠の減少・神楽の歴史を知っている人の減少等）
３．神楽で使われる私が経験した道具を中心にネットで調べた。（実際に使用した道具を確認したかったが、許可がとれず断念した。）
４．神楽を残すため、記憶が正しいか友達や祖父を通して確認した。また、残していた映像から動きの確認をし、より正確なまとめにした。
５．４と同様、配置や振り付けを確認するために残していた映像を確認のため、閲覧した。今まで研究したものを含め映像を編集しデータ化をしたかったが、コロナの影響により担当の人と相談ができなかったため、今後行いたいと考えている。
６．これらの本やネットで調べたことや、人を通して確認したことをパワーポイントにまとめたり、残した映像を挿入した。

４．まとめ

神楽の研究を通して、動機にあった何のためにしていたかを確認することができてよかったです。当時の私はこのことを知らず、嫌々でやっていたので今後行っていく子たちに意味がしっかりこめられていることを伝えられればと思いました。師匠が減っている現状を覆すようなそんな研究を今後も続けていきたいです。

３９番　和田　竜太